

SG550XG および SG350XG スイッチの自動番号

目次

- [目的](#)
- [適当なデバイス](#)
- [\[Software Version\]](#)
- [機能の概要](#)
- [トポロジーのスタック](#)
- [Web 設定](#)
- [スタック 管理](#)
- [結論](#)

目標

メカニズムをスタックする自動番号が自動的に仕様によって各ユニットおよび device's MAC address に基づいてユニークなスタック ユニット ID を割り当てるのに使用されています。これは手動で各スタックのユニット ID 番号を設定する必要なしでスタックで SG550XG または SG350XG のシームレス 統合に役立ちます。

この資料の目標は自動番号のためのデバイスを設定する方法を示すことです。

オート番号の実物大デモに関しては、下記のようにビデオを表示して下さい:

適当なデバイス

- SG550XG
- SG350XG

[Software Version]

- v2.0.0.73

自動番号

機能の概要

自動番号が自動的にデバイスの MAC アドレスに基づいて特定のスタック ユニット ID によって各ユニットを割り当てるのに使用されています。スタックトポロジーの4つの SG550XG スイッチを接続するとき、2つの観測をすることができます: これらのデバイスは単一スタックに自動的にコンバージし、各デバイスは自動的に番号が付いています。

注: 自動番号は SG350XG スイッチのスタックのために SG550XG スイッチのスタックのためにするように同じようにはたります。

トポロジーのスタック

この一連のスイッチと使用できるトポロジーのスタックには 2 つの型があります: リングおよびチェーン。このチュートリアルでは、リング型トポロジーを使用します。

リング型トポロジーでは、すべてのスイッチは閉じたループで互いに接続されます。各ユニットは 2 つの他のコンポーネントにどちら側でも接続され、これら二つの隣接ネイバと通信します。リング型トポロジーの使用の利点はスタックの接続が失敗した、スタックはアクティブのままになることです。

Web 設定

ステップ 1. Web コンフィギュレーションユーティリティへのログインは、それから > **スタック管理** 『管理』 をクリックします。このページで、どんなスタックトポロジーが現在表示しある、スタック マスターはどのユニットであるか表示かできます。

呼び出します。GUI で、スタック ポートとしてそれを指定するためにポートをクリックして下さい。スタックの他のユニットと交信を行うのにスイッチによってスタック ポートが使用されています。最低 2 つのスタック ポートは選択する必要がありますがスイッチのどのポートでもスタック ポートになることができることに注意します。

注: *Reset* フィールドの後のユニット ID がオートに設定されることを確かめて下さい。

ステップ 3. 『Apply』 をクリックし、変更を保存するためにリブートして下さい。トポロジーのその他すべてのスイッチのためのこのプロセスを繰り返して下さい。

スタック 管理

オート番号アルゴリズムはユニット 1.である最小装置番号への最も低い MAC アドレスのデバイスを設定します。スタックが設定されたら**スタック管理** ページのこのアルゴリズムの結果を表示できます。このページで、ユニット ID を見るためにトポロジーのスイッチを選択できます。

またリブートしないでスタックのトポロジーを変更できます; スタックのケーブルを再配置する場合、GUI は行った変更を検出する、それに応じてアップデートします。

結論

自動番号機能はネットワークトポロジを設定し、自動的にスタックのスイッチを割り当てる簡単な方法です。またスタックのステータスを監察するのに Web コンフィギュレーションユーティリティを使用できどんなトポロジー スタックがに現在あるか見ます。